

Q3 杉原千畝氏の生い立ちについて

調査と公表について

問 町民の方々に知っていたために杉原千畝氏の生い立ちを調査し、公表したらどうか考えを伺いたい。

答 (古田タウンプロモーション室長)

杉原千畝氏の生い立ちにつきましては、杉原千畝記念館で紹介しているとおりであります。また、杉原千畝関係の書籍にも記されているところですので。八百津町としましては、杉原千畝氏の顕彰事業で最も重要なのは、千畝氏のリトアニアで行った人道的行為を広く世界中に発信することや、人道教育を進めていくことに力を注いでいくべきだと考えております。

ただ一方で、現在、町民の有志の方々から、杉原千畝氏を顕彰する町民の有志の会を立ち上げたいというお話をいただいております。八百津町は、千畝氏の親戚縁者も多く、エピソードなどもたくさんありますので、この有志の会の皆さんで、千畝氏について調査研究がなされ、千畝氏が抱いていた八百津への思いや、エピソードなどを整理して、町民の皆様には千畝氏を身近に感じていただけるよう、情報を発信していただけるのではないかと期待しております。

長谷川泰幸議員

Q1 八百津町における障がい者就労支援の現況と取り組みについて

現況と取り組みについて

問 八百津町の障がい者雇用状況について伺う。また、就労継続支援事業所の拡充や、民間企業への積極的な就労支援の取り組みが必要だと思いが、町の考えを伺う。

答 (藤本健康福祉課長)

平成29年度の就労支援の現況ですが、企業等に就労することが困難な方であって雇用契約に基づき、継続的に就労することが可能な方に対する、就労継続支援A型(雇用型)の利用者は18名。雇用契約は結びませんが、生産活動・その他の活動の機会を提供し、就労に必要な知識及び能力の向上を図る、就労継続支援B型(非雇用型)の利用者は20名。一般就労に必要な知識・能力を養い、本人の適正に見合った職場への就労と定着を図る、就労移行支援については1名の利用者がありました。

また、平成29年度に職探しでハローワークに登録されていた方は23名ですが、その内3名の就労がありました。ハローワークにつきましては、毎年就職合

同面接会を行っており、町としても広報等でお知らせしているところですので。ちょうど一昨日にも面接会があり、本日の中日新聞・岐阜新聞の朝刊にもその内容が掲載されています。

その他、関市にある「ひまわりの丘」の就労支援事業・生活支援センターにおいても就業と生活に関する相談、事業者等の障がい者雇用に関する相談にも応じております。

平成29年度に実施した障がい者福祉計画に係るアンケート調査によると、回答が得られた方の内「正規・非正規に関わらず雇用者として働いている」と答えた方は、身体障がい者11・1%、知的障がい者18・6%、精神障がい者10・0%と低い状況でした。

また、身体と精神の方については、6割以上が「家庭内で過ごしている」と答えられており、知的の方については、2割以上が「病院に入院か施設に入所している」と答えられています。どの障がい者の方も「今後も今の暮らしを続けたいと思っている」と答えられた方が一番多かったですが、精神の方については「どのような形でも良いので働きたい」と思っている方も多いという結果が把握できました。

町内には福祉就労の事業所が一つしかなく、町外に通う利用者が多いこと、そして町外まで

自分で通うことができない当事者は、なかなか就労できない状況などから、町内での障がい者雇用を促進する取り組みが必要と考えました。働きたい・社会参加したいという思いがあるのに、そうしたチャンスが得られにくい状況を少しでも改善したい、そして町内で働く場の情報

が得られる機会をつくりたい、そうした思いから始めたのが、今年9月に開催しました「障がいのある方と社会参加の場をつなぐ勉強会」です。障がい者ご本人、ご家族、相談員、就労継続支援事業所、ハローワーク、そして商工会や町内企業・事業所の皆さんに声をかけ、開催いたしました。この取り組みは、企業・事業所の皆さんに積極的な障がい者雇用の意識を持って頂けたら、また、参加された方々や企業・事業所の皆さんに、就労支援事業所について理解して頂くことで、「ひよつとして私たち、または、うちの事業所でもできるのでは」などと、町内での就労支援事業所立ち上げのきっかけともなれば、という思いもこめて始めたものです。

第1回目については企業や事業所の皆さんの参加が少なかつたことから、この反省点を踏まえ、今後は、内容や方法を工夫し、開催していく必要があると認識しました。しかし、こうした取り組みを、ひとつずつコツ

コツと積み上げていくことが大切だと考えております。

本年度からスタートしました「第4次八百津町障がい者福祉計画」の基本理念は「すべての町民が、障がいの有無にかかわらず、等しく人権を持つかけがえない個人として尊重され、地域で共生するまちの実現」です。そんなまちづくりの実現に向け、町社会福祉協議会と連携し、特に今後は八百津町商工会、町内企業・事業所の皆様のご理解ご協力を頂きながら、障がい者雇用への取り組みを続けてまいります。

町内での福祉就労の促進と八百津町の障がい者雇用の状況について

問 現状、町内では、福祉就労の事業者が一つしかなく、

人道のまちやおつとしては、今後、積極的に障がい者雇用を促進する取り組みが重要だと思われ、社会福祉協議会とも連携を推進していただきたい。

今年、「障がいのある方と社会参加の場をつなぐ勉強会」が開催されたが、反省点として地元企業の参加が少なく、これからの課題である。たとえば、障がい者を雇った企業に助成するということも必要だと思いが、町の考えを伺う。また、八百津町の障がい者雇用人数や法定雇用率、障がい者手帳等の